

# 年報（2017年4月～2018年3月）

## 【課程報告—活動記録】

### 【2016年度から2017年度にかけての国際教育センター留学生支援教育部門の動き】

文責：加藤好崇

前年度、新しい国際教育センターが誕生し、2017年度は留学生支援教育部門として、他部門、事務方との調整作業を行う時期であった。特に、ミッション・シェアリングシート、業績評価、紀要、各種委員会、国際フェアの運営方法等の統一に関しては、部門間での調整作業が何回も行われ、その一部は現在も懸案事項として担当者間での協議が行われている。

尚、2017年度をもって谷口聡人教授が定年退職され、2018年度からは名誉教授となった。

## I 別科日本語研修課程

### ①在学者数とその内訳（人）

	春学期	秋学期
新入学生 JL + JS (1セメスター)	67	76
在学学生 JL + JS (2セメスター)	36	32
在学延長学生 (3セメスター以上)	8	15
聴講生 (TC)		6
その他	1 (体育学部からの依頼)	13 (イノベティブ・アジア) 2 (ピース・プロジェクト)
合計	112	144
国・地域別学生数	韓国23・タイ20・イタリア10・ベトナム10・台湾9・トルクメニスタン5・中国5・ドイツ4・モンゴル4・ノルウェー3・ロシア3・イラン2・オーストラリア2・サウジアラビア2・スウェーデン2・アメリカ1・カタール1・カナダ1・コスタリカ1・スペイン1・スリランカ1・バングラデシュ1・ブルガリア1	韓国30・タイ28・台湾11・トルクメニスタン8・ベトナム8・インドネシア4・カンボジア4・スリランカ4・パキスタン4・中国4・インド3・コスタリカ3・モンゴル3・アフガニスタン2・イラン2・スウェーデン2・ロシア2・アメリカ1・アラブ首長国連邦1・オーストラリア1・ガーナ1・カタール1・カナダ1・サウジアラビア2・シンガポール1・スペイン1・スリランカ1・ナイジェリア1・ノルウェー1・バングラデシュ1・フィリピン1・フィンランド1・ブルガリア1・ベトナム1・ベネズエラ1・ミャンマー1・モンゴル1・日本1

## ②授業日程

	春学期	秋学期
担当講師会	3月2日(水)	9月1日(金)
入学式	4月2日(日)	9月21日(木)
プレースメントテスト	4月3日(月)	9月14日(木)
授業開始	4月7日(金)	9月22日(金)
新入生研修会	7月4日(火) 歌舞伎鑑賞とJAL／ANA工場見学	10月24日(木)箱根
定期試験	7月25日(火)～27日(木)	1月23日(火)～25日(木)
授業終了・終了の会	7月28日(金)	1月26日(金)
授業報告会	7月28日(金)	1月26日(金)
修了式	9月21日(木)	3月25日(金)

## ③推薦試験

	春学期	秋学期
筆記試験実施日	6月23日(月)・24日(火)	11月20日(月)・21日(火)
受験者数	9人	17人
推薦内定者数	9人	17人(内定後3人辞退)
推薦面接試験日	7月9日(日)	12月10日(日)
合格者数	9人：経済1，国際1，デザイン2，電気電子1，精密工2，土木1，医用生体1	14人：経済1，デザイン3，電気電子3，機械2，精密1，原子力1，航空宇宙1，応用化学2

## ④別科修了者の動向(協定校からの派遣学生を除く)(人)

	春学期	秋学期
学部進学	8	11
大学院進学	1	3
本学研究生希望	1	2
他大学希望	0	1
専門学校進学	0	0
帰国	6	10
就職	1	1
その他	1(語学学校)	1(就職活動)
修了不可(推薦入学者を含む)	0	0
在学延長	12(内1名延長後退学)	12
計	30	41
※推薦入学のため1セメスターで退学	1	3

## ⑤ KMITL ツイニングプログラム

## 1) 第24期生

2017年3月31日	第一回面接：8名応募し、7名が面接を受けて（1名辞退）全員合格。その後2名が辞退し、5名でのスタートとなった。
2017年7月7日～15日	スタディーツアー：5名が参加した。7月10日～12日に大学院生による授業を行い、12日第2回面接を行った。
2017年8月21日	筆記試験（タイ）。第3回面接：5名全員が合格した。
2017年9月21日	入学式：5名全員が別科に入学した。

## 2) 第25期

2017年9月29日	第一回面接：8名応募し、7名が面接を受けて（1名辞退）全員合格。その後1名が辞退し、6名でのスタートとなった。
2018年1月12日～20日	スタディーツアー：6名が参加した。1月15日～17日に大学院生による授業を行い、17日に第2回面接を行った。
2018年2月28日	筆記試験（タイ）・第3回面接：6名全員が合格した。
2018年4月1日	入学式：6名全員が別科に入学した。

## II 日本語教育特別講座

2017年度の日本語教育特別講座の実施概要は以下のとおりである。

## 1. 第43回モスクワ大学日本語研修講座

- 1) 研修内容（1名が1年在籍）
- 2) 研修期間：2016年度秋学期 3クラス1名  
2017年度春学期 2クラス1名

## 2. 第32回フンボルト大学日本語研修講座

- 1) 研修内容（5名が1年在籍）
- 2) 研修期間：2016年度秋学期 1クラス1名、2クラス1名、3クラス3名  
2017年度春学期 1クラス2名、2クラス3名

## 3. 第23回・第24回漢陽大学日本語研修講座

- 1) 研修内容（春学期15名、秋学期25名それぞれ1学期在籍）
- 2) 研修期間：2017年度春学期 1クラス6名、2クラス2名、4クラス4名、5クラス3名  
2017年度秋学期 1クラス5名、2クラス1名、3クラス4名、  
4クラス8名、5クラス5名、6クラス2名

## 4. 清州大学日本語研修講座

- 1) 研修内容（春学期4名、1学期在籍、秋学期1名、1学期在籍）
- 2) 研修期間：2017年度春学期 1クラス2名、4クラス1名、7クラス1名  
2017年度秋学期 1クラス1名

## 5. ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学短期日本語研修

- 1) 研修内容（10名が1学期在籍）

- 2) 研修期間：2017年度春学期 1クラス2名, 2クラス3名, 3クラス4名,  
4クラス1名
- 6. オスロ大学短期日本語研修
  - 1) 研修内容 (2名が1年在籍)
  - 2) 研修期間：2016年度秋学期 3クラス2名  
2017年度春学期 1クラス2名
- 7. ハワイ東海インターナショナルカレッジ (HTIC) 日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (2017年度の在籍者なし)
- 8. デンマーク教育省
  - 1) 研修内容 (2017年度の在籍者なし)
- 9. クイーンズランド大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (2017年度の在籍者なし)
- 10. ストックホルム大学日本語教育特別講座2名
  - 1) 研修内容 (春学期2名, 1学期在籍, 秋学期2名, 1学期在籍)
  - 2) 研修期間：2017年度春学期 2クラス2名  
2017年度秋学期 2クラス2名
- 11. サイアム大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (3名が1学期在籍)
  - 2) 研修期間：2017年度秋学期6クラス3名
- 12. 極東大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (1名が2015秋から1年在籍, 1名が1学期在籍)
  - 2) 研修期間：2016年度秋学期 研修内容：2クラス1名  
2017年度春学期 研修内容：1クラス1名, 2クラス1名
- 13. ブルガリア教育科学省日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (1名が1年在籍)
  - 2) 研修期間：2016年度秋学期 研修内容：4クラス1名  
2017年度春学期 研修内容：3クラス1名
- 14. サラマンカ大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (1名が2015年度秋学期より計2年在籍)
  - 2) 研修期間：2016年度秋学期 研修内容：3クラス1名  
2017年度春学期 研修内容：3クラス1名
- 15. トゥルク大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (2016年度秋学期～2017年度春学期の在籍者なし)
- 16. ベルゲン大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容 (1名が1年在籍)
  - 2) 研修期間：2017年度春学期 研修内容：4クラス1名  
2017年度秋学期 研修内容：2クラス1名

17. アイスランド大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容（2017年度の在籍者なし）
18. 台湾東海大学日本語教育特別講座
  - 1) 研修内容（2名が1年在籍）
  - 2) 研修期間：2017年度春学期 研修内容：1クラス2名  
2017年度秋学期 研修内容：1クラス2名
19. 第2回ベトナム人材育成プログラム
  - 1) 研修内容（8名が2016年度秋学期から1年半在籍）
  - 2) 研修期間：2017年度春学期 研修内容：3クラス5名，4クラス2名，5クラス1名  
2017年度秋学期 研修内容：2クラス5名，3クラス2名，4クラス1名

### Ⅲ ショートプログラム

#### 3.1 ベトナム原子力人材育成プログラム

対象学生：3期生 ベトナム電力グループ社員8名

コーディネーター：外崎淑子

##### 1) プロジェクト概要

日本とベトナムとの間の原子力協力を進めるために日越原子力協定が締結され（2012年1月21日発効）、その下で、ベトナムの原子力発電所建設計画に対する日本のとりまとめ機関となる国際原子力開発（株）（JINED）とベトナムの原子力発電所の建設・運転を担うこととなるベトナム電力グループ（EVN）との間で協力関係が築かれた。

東海大学は、ベトナムの原子力発電開発に携わることになる社会人を受け入れ、日本語教育とともに、日本語によるエネルギーと原子力の教育を行った。これまでの教育については2012年度年報～2016年度年報を参照されたい。

2016年11月22日にベトナム国会が原発建設計画を白紙撤回する政府案を承認したことにより、3期生の教育は、2017年度は短縮、縮小され、2年の研修予定が1年半となり、2018年2月にコースが修了した。

##### 2) 教育概要

2017年度は、3期生の日本語教育を春・秋セメスター及び、夏季休暇中に行った。

- 1. 春学期は5名が別科3クラスに、2名が4クラスに、1名が5クラスに所属した。全員日本語授業15コマのうち、コアの授業を中心に10コマに参加した。
- 2. 秋学期は、5名が別科2クラスに、2名が3クラスに、1名が4クラスに所属した。全員日本語授業15コマのうち、コアの授業を中心に8コマに参加した。

##### 3) 夏季休暇中補講

補講期間 2017年8月7日～8月10日

##### 4) 成績評価

通常の別科クラスによる成績の他に、J.TEST（A-D レベル）を2017年9月10日、2018年1月14日に受験させ、評価した。

### 3.2 第5期 Cool Japan Tokai

- 1) 目標：(1) 日本の文化と言語を体験を通じて理解する。  
(2) 文化の異なる学習者同士が日本語の学習をとおして日本、自国、そして世界への関心を深める。
- 2) 実施期間：2017年7月10日（月）～21日（金）
- 3) 担当：斉木ゆかり・横田川弥里
- 4) 参加5カ国22名：年齢：16歳～28歳  
タイ10, ロシア6, マレーシア3, デンマーク2, オーストリア1
- 5) 日本語発話力：中級：11人, 初級：11名
- 6) スケジュール

	7/10 月	7/11 火	7/12 水	7/13 木	7/14 金
9:20-10:20 10:30-11:30 11:40-12:40	ガイダンス プレースメントテスト	日本語1	見学旅行 東京	日本語2	日本語3
13:25-14:55	自由			茶道A 書道B	柔道

	7/17 月	7/18 火	7/19 水	7/20 木	7/21 金
	日本語4	日本語5	見学 箱根	日本語6	発表
	自由			茶道B 書道A	修了 パーティー

### 3.3 ヨウツェノ学院短期プログラム 報告

- 1) 目標：(1) 日本の文化と言語を体験を通じて理解する。  
(2) 日本語の学習を通して日本への関心を深める。
- 2) 実施期間：2017年2月23日（金）～3月7日（水）
- 3) 担当：山森理恵・斉木ゆかり
- 4) 参加10名（男1, 女9）
- 5) 日本語発話力：初級：10人
- 6) スケジュール

	2/22 木	2/23 金	2/24 土 2/25 日	2/26 月	2/27 火	2/28 水
9:20-10:20 10:30-11:30 11:40-12:40	成田着	日本語1	松田町桜祭 参加	見学旅行 ジブリ博物館 スカイツリー	日本語1	演劇 茶道
13:25-14:55 18:00-	オリエンテーション 自由 歓迎会	小田原城見学 かまぼこ工場	自由	他	宮ヶ瀬ダム	相模中等部・ 高校訪問
	3/1 木	3/2 金	3/3 土 3/4 日	3/5 月	3/6 火	3/7 水
9:20-10:20 10:30-11:30 11:40-12:40	日本語3	日本語4	ホームビジット (秦野市)	見学旅行 狂言・ 東京見学	日本語5	日本語6 (発表会)  修了式
13:25-14:55	柔道	防災体験			和服着付体験	サヨナラ パーティ 3/8 東京へ

#### IV 留学生カリキュラム

##### 1. 開講科目（人）

春学期開講科目	秋学期開講科目
日本語1（斉木：火・金2）18 カタール1，韓国3，サウジアラビア9，UAE2，中国1， タイ1，マレーシア1 日本語1（北村：火・金2）8 中国5，韓国1，サウジアラビア2	日本語1（田口：火・土2）6 中国2，韓国2，サウジアラビア1，バングラディッシュ1
日本語2（元田／外崎：月・木4）12 中国7，韓国5 日本語2（谷口：火・金2）4名 UAE2，中国1	日本語2（谷口：火・金3）7 中国2，サウジアラビア1，タイ1，韓国2，モンゴル1
	日本語3（谷口：水4）55 中国40，韓国8，タイ，その他7
日本の文化・社会（アルモーマン：木2）38 中国，サウジアラビア，香港，モンゴル，韓国，タイ インドネシア日本の文化・社会（鷹取：火4）54 中国37，台湾3，香港1，韓国7，フランス1， ベトナム1，モンゴル1，デンマーク1， サウジアラビア1，タイ1	世界と日本（鷹取：火4）14 中国9，韓国2，タイ2，UAE1 世界と日本（アルモーマン：木2）28 モンゴル1，韓国2，タイ2，中国10，アラブ人留学生13
<清水校舎>日本の文化・社会（斉木：水4）15 中国14，マレーシア1	<清水校舎>日本語3（斉木：水4）11 中国10，マレーシア1 <清水校舎>日本語3（斉木：水3）11 中国9，タイ1，マレーシア1

## 2. 学部入学留学生数

身分	学部学科	2017春（正規生）	2017秋（正規生）
学部	文学部ヨーロッパ文明学科	1	
	文学部歴史学科日本史専攻	1	
	文学部歴史学科東洋史専攻	1	
	文学部日本文学科	1	
	文学部英語文化コミュニケーション学科	2	
	文学部広報メディア学科	10	
	文学部心理・社会学科	3	
	政治経済学部政治学科	1	
	政治経済学部経済学科	5	2
	政治経済学部経営学科	7	
	教養学部人間環境学科社会環境課程	4	
	教養学部芸術学科デザイン学課程	1	2
	教養学部国際学科	8	1
	体育学部生涯スポーツ学科	1	
	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	2	
	理学部数学科	2	
	理学部物理学科	3	
	情報理工学部情報科学科	3	
	情報理工学部コンピュータ応用工学科	8	
	工学部生命化学科	4	
	工学部応用化学科	16	
	工学部原子力工学科	1	
	工学部電気電子工学科	18	1
	工学部材料科学科	1	
	工学部建築学科	10	
	工学部土木工学科	3	1
	工学部精密工学科	7	2
	工学部機械工学科	20	
	工学部動力機械工学科	7	
	工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	2	
	工学部医用生体工学科	1	1
	観光学部観光学科	8	
	情報通信学部情報メディア学科	6	1
	情報通信学部組込みソフトウェア工学科	5	
	情報通信学部経営システム工学科	2	
	情報通信学部通信ネットワーク工学科	5	
	海洋学部環境社会学科	2	
	海洋学部海洋地球学科	1	
	海洋学部水産学科食品科学専攻	2	
	海洋学部海洋生物学科	1	
	海洋学部航海工学科海洋機械工学専攻	4	
	経営学科	3	
	観光ビジネス学科	1	
電気電子情報工学科	1		
農学部応用動物科学科	1		
国際文化学部国際コミュニケーション学科	2		
生物学部生物学科	2		
合計		200	11



## V 副専攻・特定プログラム

## 1. 開講科目

副専攻（春）	副専攻（秋）
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育法概論（北村：火・金1）68名</li> <li>現代日本語文法（北村：月・木4）84名</li> <li>日本語語彙論（アルモーメン：金2）</li> <li>日本語と教育1（田口：水3）70名 韓国5、中国11、タイ1</li> <li>接触場面演習（加藤：火2）35名 ノルウェー2名、台湾2名（以上別科生）、中国人1名、 タイ1名（以上聴講生）</li> <li>日本文化概論（村上：木1）82名 中国15・韓国5・タイ1・台湾1、別科28人</li> <li>言語の諸相1（外崎：月3）53人 中国3</li> <li>日本語授業研究（元田・金4）39名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育法概論（元田：火・金1）45名 タイ1（研究生）、ベトナム1（研究生）</li> <li>現代日本語文法（外崎：月・木4）90名 中国12、台湾3、韓国4</li> <li>日本語音声学（宮城：木3）60名 中国、韓国、タイ</li> <li>日本語教育方法論（斉木：水3）30名 中国4</li> <li>日本語授業研究（元田：金3）</li> <li>日本語教育演習（田口：水3）16名 中国2、タイ1</li> <li>日本語と社会・心理1（北村：月3）37名 中国3、香港1、韓国2、台湾3</li> </ul>
特定プログラム（春）	特定プログラム（秋）
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と教育2（斉木：木2）10名 中国2、韓国1、台湾1</li> <li>日本語と教育3（長沼：火1）8名</li> <li>日本語と教育4（村上：水2）1名</li> <li>言語の諸相4（宮城：木4）4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語の諸相2（加藤：火2）10名 中国1、台湾1、モンゴル1、タイ1</li> <li>言語の諸相3（アルモーメン：金4）6名</li> <li>日本語と社会・心理2（元田：金3）9名</li> <li>日本語と社会・心理3（村上：水3）5名 中国1</li> </ul>

## ①特定プログラム合格者

春学期11人（7BEC 1名・6BJJ 1名・6BBL 1名・6BBX 1名・6BBM 1名・6BBP 1名・  
6BBX 1名・5BGC 1名・5BBX 1名・5BBC 1名・5BBY 1名）  
秋学期1人（6BBC 1名）

## 【特記事項】

1. 次年度より開始される新カリキュラムに向けての準備が行われた。

## VI 大学院 文学研究科日本文学専攻日本語教育学コース

### 2017年度開講科目・担当者

日本語学 1 - 1	宮城幸枝
日本語学 1 - 2	宮城幸枝
日本語学 2 - 1	アルモーメン
日本語学 2 - 2	関正昭（秋学期集中講義）
日本語学 3 - 1	外崎淑子
日本語学 3 - 2	外崎淑子
日本語教授法研究 1 - 1	元田静
日本語教授法研究 1 - 2	元田静
日本語教授法研究 2 - 1	加藤好崇
日本語教授法研究 2 - 2	加藤好崇
日本語教授法演習 - 1	宮城幸枝
日本語教授法演習 - 2	宮城幸枝
国際関係特論 - 1	貴家勝宏
国際関係特論 - 2	貴家勝宏
社会言語学特論	加藤好崇（春・秋開講）
日本語研究特論 - 1	外崎淑子
日本語研究特論 - 2	野山広
日本語教育研究特論	宮城幸枝
日本語教育学研究法 ABCD（ゼミ）	宮城幸枝, 加藤好崇, 外崎淑子

\* 町田健教授（非常勤講師）が2016年度末をもって退職。

日本語研究特論 - 1 は外崎淑子准教授が担当することになる。

### 2017年度春入学者：

ズオン・クイン・ガー      ターリク・ハカミ      ハ・ティクインアイン

### 2017年度秋入学者：

トンカム・ジローパス      葛 嵐

### 2017年度修了生（2018年3月修了）：フルード・ムハンマド

「日ア母語場面及び日ア接触場面における『依頼—断り』の発話行為に関する研究—『断り』の発話行為を中心に—」

### KMITL 日本語教育研修

2017年度夏季に、ズオン・クイン・ガー、ハ・ティクインアインが実習及び研修を行う。

休学者：鈴木慎ノ介（2017年9月～2018年6月までフィンランドにて語学研修・日本語教育研修を行う）

## Ⅶ 国際教育部門「日本学副専攻」

春学期開講科目	担当者
Observing the Earth	長幸平, 青木由香利
Eco-Technology	広瀬研吉
Today's Civil Engineering	本間重雄, 青木由香利
Japanese Popular Culture	グラディシェワ・ヤロスラヴァ, 広瀬一郎, 鷹取勇希
Japanese Sociology A	藤巻裕之, 貝田真紀, グラディシェワ・ヤロスラヴァ, 鷹取勇希
Culture and Communication	アブドーラ・アルモームン, 鷹取勇希

秋学期開講科目	担当者
Motor sports management	坂本俊之
Japanese Traditional Culture	田巻以津香, 堀啓子, 高妻容一, 渡邊研司, シプリアン サンティアゴ, 鷹取勇希
Japanese Sociology B	アブドーラ・アルモームン, 鷹取勇希
Japanese Human Security	和田龍太, 田辺圭一, グラディシェワ・ヤロスラヴァ
International Relations	広瀬研吉
International Relations	藤巻裕之, 小山昌子, プラット・ジェイソン, 久保谷政義, グラディシェワ・ヤロスラヴァ, 鷹取勇希

## Ⅷ 外国人講師のための日本語コース

## ①入門 担当教員：久野由宇子

	春学期	秋学期
テキスト	なし：自主制作 PPT と配布資料	Basic Japanese for Expats Book1 の文法解説部分, 自主作成 PPT と配布資料
学生数	インド3, カザフスタン1, タイ3名, 中国1名, カナダ1	インド2, カザフスタン1, タイ3, 中国1, アメリカ1

## ②応用 担当教員：寺田裕子

	春学期	秋学期
テキスト	N3 対策（文法, 読解, 聴解, 漢字語彙）	N3 対策（聴解, 漢字, 読解, 文法）
学生数	アメリカ4	アメリカ3

## IX サウジアラビア政府留学生に対する特別補助教育・教育支援プロジェクト

本プロジェクトでは、東海大学工学部に在籍するサウジアラビアからの留学生を対象とした学習支援プロジェクトであり、2016年9月より2017年7月末まで行われた。学習支援の方法は、工学部の各学科から、1～2名の日本人チューターを選出してもらい、学科ごとに留学生にレポート指導や、テスト勉強などを指導してもらった。最終的には30名程度の留学生がこの学習制度を利用し、成績や出席率が大幅に向上していたが、サウジアラビア大使館の意向により、2017年度春 semester での終了となった。支援していた日本人学生からは「留学生と交流できてよかった」「自分も勉強になった」など好意的な感想が出ていた。

### 【研究・教育業績報告】

谷口聡人

1. 研究集会企画・運営・参加「日本語教育ワークショップ」  
「日本語教育における心理学の活用 ―学習者をどう勇気づけるか―」  
2017年5月6・7日  
主催：東海大学ヨーロッパ学術センター（デンマーク・コペンハーゲン）
2. 同上  
「作文能力を伸ばす方法を考える」  
2017年11月4・5日 主催：同上
3. 調査・実践報告「北欧における日本語教育ワークショップの活動を振り返る」『東海大学紀要国際教育センター』第8号 pp.71-89.

宮城幸枝

1. 論文（宮城幸枝・沖野成紀・灰田宗孝）「日本語文リピーティング時の右脳・左脳の活動について―母語話者と日本語学習者の右脳・左脳を光トポグラフィーで観察する―」『東海大学大学院日本語教育学論集』第5号 東海大学大学院文学研究科日本文学専攻日本語教育学コース（2018.03）
2. 一般発表（宮城幸枝・沖野成紀・灰田宗孝）「日本語文リピーティング時の脳活動―光トポグラフィーで母語話者と日本語学習者の左脳・右脳の血流量を調査する―」2018年度学校法人東海大学創立75周年記念行事国際学術セミナー「言語教育と日本学の拡がり」と創造に向けて」（2018.02）

斉木ゆかり

1. 論文「スピーチ授業における「自己評価」」『東海大学国際教育センター紀要』8
2. Using Kamishibai Technique in Your Class Speech, Drama and Debate SIG Forum, (2017.5.21) Jalt Pan sig

3. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.4.16）
4. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.5.26）
5. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.6.18）
6. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.8.20）
7. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.11.19）
8. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2017.12.17）
9. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2018.1.21）
10. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2018.2.18）
11. <教育講座> 「みんなのインプロ」 キャンパスネットやまなし連携講座（2018.3.18）
12. KMITL 音響工学日本研修生のための日本語講座（2017.5.28.）

#### 加藤好崇

1. 論文「観光接触場面における「やさしい日本語」の可能性と課題—柳川市やさしい日本語ツーリズム事業の実例からの考察—」『東海大学大学院日本語教育学論集』第5号 pp.30-44.
2. 招待講演「やさしい日本語で作る観光コミュニケーション—観光接触場面におけるツアーリスト・トークの観点から—」『やさしい日本語で作る観光コミュニケーション』立教大学異文化コミュニケーション学科（2018.2）
3. 招待講演「留学生のレポート指導接触場面における問題とその対処法—山あり谷ありの修論指導の現場から—」『中央大学ライティング・ラボ第2回講演会』中央大学ライティング・ラボ（2018.2）
4. パネルディスカッション司会『観光接触場面のツアーリスト・トーク「やさしい英語」と「やさしい日本語」』日本言語政策学会（JALP）第19会大会（2017.6）
5. パネルディスカッション司会「4カ国における日本語教育と現況と課題：日本・タイ・韓国・エジプトの場合」『東海大学創立75周年記念行事国際学術セミナー「言語教育と日本の拡がり」と創造に向けて』モンクット王ラカバン工科大学（2018.2）

#### 北村よう

1. 論文「中国語動詞の自他——なぜ中国語話者にとって日本語動詞の自他は難しいのか——」『東海大学紀要 国際教育センター（留学生支援教育部門・国際教育部門）』第8号 pp.1-12.
2. 発表（青木由香利・北村よう）「FileMaker を用いた数学専門用語教科書作成プロジェクト」第49回日本語教育方法研究会
3. 発表「FileMaker Go を使った授業連絡の効率化」第50回 日本語教育方法研究会
4. 発表（青木由香利・北村よう）「理系専門用語の漢字練習帳—教員からのフィードバック—」第50回日本語教育方法研究会

外崎淑子

1. 論文「学習項目定着のための『毎朝2文ディクテーション』の試み」『東海大学紀要国際教育センター 留学生支援教育部門・国際教育部門』第8号, 105-116.
2. 論文「『する／させる』の交替について」『神田外語大学大学院紀要 言語科学研究』第24号, pp.43-61, 神田外語大学大学院.

元田静

1. 論文(元田静・笠倉敬弘)「協働学習の研究方法に関する分析と展望—学会誌『日本語教育』と『教育心理学研究』との比較を通して—」『東海大学大学院日本語教育学論集』第5号, pp.15-29.
2. 論文集「日本語教育における『学び合い』の実践」『日本語教育方法研究会誌』24(2), pp.110-111. 2017年
3. 発表「日本語教育における『学び合い』の実践」第49回日本語教育方法研究会(於:筑波大学) 2017年9月
4. 発表「成人日本語学習者を対象とした『学び合い』の実践と課題—「貢献感」を中心として—」第16回臨床教科教育学セミナー(臨床教科教育学会主催)(於:東京学芸大学) 2018年1月
5. 発表(元田静・笠倉敬弘)「協働学習の研究方法に関する一考察—談話の分析を中心に—」2018年度国際学術セミナー(於:バンコク) 2018年2月
6. 招待講演「日本語教育における心理学の活用—学習者をどう勇気づけるか—」東海大学ヨーロッパ学術センター主催日本語教育ワークショップ2017春(於:コペンハーゲン) 2017年5月  
「アドラー心理学の理論と日本語教育への応用」(講義)  
「勇気づけとは何か」(ワークセッション)  
「不適切な行動に対する対処方法について」(ワークセッション)

アルモーメン アブドラー

1. 発表「日ア語, ア日語の比喩表現の意味理解とその翻訳法, 慣用的比喩表現を事例に」, 日本 通訳翻訳学会・第18回年次大会(2017.9)
2. 発表「日本語・アラビア語の視点と表現の違い, 発想と表現をめぐって」, 日本中東学会・第33回年次大会(2017.5)
3. 招待講演「日本とアラブの文化外交 ~翻訳によるパブリック・ディプロマシーの可能性を考える~」(在日エジプト大使館, 文化・教育・科学部主催, 講演)(2017.5)
4. 国際学術セミナー「アラブ世界における日本語教育の課題と現状」[国際学術セミナー, 言語教育と日本学の拡がり創造に向けて](2018.2)
5. 学会企画セッション「Saudi Arabia Paths towards new Moderation and Future Measures in 2030 under the current political Turmoil」日本中東学会第33回年次大会 九州大学(2017.5)

6. 論文「日本語とアラビア語における問題点、慣用的現の意味理解と翻訳方法をめぐって」『東海大学国際教育センター紀要』第8号
7. 学術エッセイ「パブリックディプロマシーとしての翻訳活動、日本とアラブの文化外交をめぐって」通訳翻訳研究への招待 No.18（2017.12）
8. 招待講座「日本語アラビア語プロ通訳者・翻訳者になるためのノウハウ第1弾」サウジアラビア王国大使館文化部 招待講座（2018.01.13）
9. 招待講座「日本語アラビア語プロ通訳者・翻訳者になるためのノウハウ第2弾」サウジアラビア王国大使館文化部 招待講座（2018.01.20）
10. 招待講演「第1部：日本語学習と自己啓発、ノウハウとその可能性について、第2部：日本語の世界、そこが知りたい！」サウジアラビア王国・キングサウド大学言語翻訳学部・日本語学科」（2017.04）
11. 招待講演「日本を学ぶ、働く、生きる、日本の大学、そこが知りたい！」カイロ大学・日本研究センター及び駐エジプト日本大使館広報文化センター（2018.03）
12. エッセイアルモーメン アブドーラ（2018.02）「アッバス議長顧問「パレスチナと平和に日本も一役買ってほしい」」ニューズウィーク日本版
13. エッセイ「挨拶の応酬に込められた、人々が大切にしていること」Pen誌（2018.01）
14. エッセイ「勤労と国民の義務、日本憲法のユニークな条項 nippon.com アラビア語版（2017.09）
15. エッセイ「英語でなくていいんだ！やさしい日本語でやさしいおもてなし」ニューズウィーク日本版（2017.08）
16. エッセイ「一個のおむすびと浅草花やしきで平和について考えた」ニューズウィーク日本版（2017.09）
17. エッセイ「共謀罪法」がイスラモフォビアを生まないか」ニューズウィーク日本版（2017.07）
18. エッセイ「アラブの教育と日本の流儀（アラビア語訳）」alrai新聞、チュニジア（2017.08）
19. エッセイ「アラブの教育と日本の流儀（アラビア語訳）」季刊アラブ No.160（2017.07）
20. エッセイ「アラブの教育と日本の流儀」alrai新聞、チュニジア（2017.08）
21. エッセイ「Global Citizen になるとは？ 岡倉天心が教える国際化の道」毎日新聞、東海大学を知るウェブマガジン（2017.06）
22. エッセイ「日本人とその思考様式、なぜ？どのように？（アラビア語）」ハフィントンポストアラビア語版（2017.05）

#### 田口香奈恵

1. 発表「ある外国につながる子どもへの高校受験支援の事例研究—地域・家庭・学校との連携を目指して—」2018年子どもの日本語教育研究会第3回大会（聖心女子大学）
2. 発表（久野由宇子・田口香奈恵・上田安希子）「文型の理解と産出のための「文法ドラマ」—受身、使役、授受等の表現の状況を演じて考える—」JLEM 日本語教育方法研究会第9号（2019）

青木由香利

1. 発表「アラブ地域における義務教育と数学力—サウジアラビア，アラブ首長国連邦，エジプト，カタールを中心に—」International Forum 2017, Trends and Prospects of Mobility, Student Mobility and Support in the Asia-Pacific Region, アジア太平洋における学生流動化と学生支援の新潮流と将来像，留学生教育学会，於：東洋大学 白山キャンパス，2017年8月19日
2. 発表（青木由香利，北村よう）「FileMaker を用いた数学専門用語教科書作成プロジェクト」第49回日本語教育方法研究会，於：筑波大学，2017年9月16日，
3. 発表「留学生のための数学教育—アラブ諸国からの留学生に対して—」2018年度数学教育学会春季年会，於：東京大学，2018年3月19日
4. 発表（青木由香利，北村よう）「理系専門用語の漢字練習帳—教員からのフィードバック—」第50回日本語教育方法研究会，於：宮城教育大学，2018年3月24日，

鷹取勇希

1. 論文：「The legitimacy of English domination and people's attitudes toward English: An analysis based on a review of course feedback」(*Civilizations* 『文明』 Special Issue 2017, September 2017)
2. 学術論文：「A. グラムシの「ヘゲモニー論」からみた英語に対する意識と言語的・文化的多様性に関する教育の可能性—自由記述式アンケートに表出する意識を中心に—」『東海大学紀要 国際教育センター』第8号
3. 発表：「TED Talks におけるコメント分析—言語的・文化的多様性保持をとおした「多様な人間の生」の観点から—」（比較文明学会 2017年10月）
4. 国際シンポジウム発表：「English Domination, Revitalization of the Hawaiian Language, and the Future of Minor Languages」(Interests and Power in Language Management: 5th International Language Management Symposium 2017年9月)
5. 国際シンポジウム発表：「A Case Study of Kaka'ako District in the Island of Oahu — From a Consideration of Gramscian Notion of Counter-Hegemony —」(International Symposium: The 3rd Dialogue between Civilizations 2018年3月)
6. 国際シンポジウム司会：「Trans-Disciplinary Humanities (II) : Dialogue between Cultures and Civilizations」(International Symposium: The 3rd Dialogue between Civilizations (2018年3月))

富田紘央

1. 発表（富田紘央・ニダー ラープスィーサワット）「日系企業の求める人材とタイ人学生が求める日系企業像」東海大学創立75周年記念国際学術セミナー（モンクット王ラカバン



工科大学・タイ）2018年2月

2. 論文（富田紘央・望月太郎）「世代をまたぐ日本語学習—ベトナム人高校生の日本留学へのニーズと展望—」『東海大学国際教育センター紀要』第8号 pp91-103
3. シンポジウム司会「言語教育と日本学の拡がりと創造に向けて」東海大学創立75周年記念国際学術セミナー（モンクット王ラカバン工科大学・タイ）2018年2月

## 【研究・教育活動報告】

### 1. 2017年度第11回国際フェア報告

2017年10月20日（金）、21日（土）に、第11回東海大学国際フェアを創立75周年の記念行事として行なわれた。本学で学ぶ留学生と日本人学生が日頃の学習の成果を生かすとともに、相互の交流を深めることなどを目的に行われ、両日合わせて3000人の学生や教職員、地元住民らが来場した。8号館4階の教室では30の国と地域で20ブースを出展し、文化や生活習慣等を紹介した。また、10月21日土曜日の13:00から15:00、松前記念館講堂に於いて「国連 UNHCR 難民映画祭」で「ナイス・ピープル」を上映した。

### 2. スピーチコンテスト

#### 1) 2017年度 春学期 留学生による日本語スピーチコンテスト

賞名	名前	タイトル	別科クラス	国籍
最優秀賞	蔡希源 (チェヒウオン)	命	1	韓国
優秀賞	ホック ラミサ	あきらめないこと	3	バングラデシュ
努力賞	カヴェツキ カロリーナ	ホモセクシュアルとストレートの違った考え方	2	スウェーデン
参加賞	李イエスル	びびっていますか 怖がっていますか	1	韓国
	ニランタスクラット ピムピガー	おいしい発見	6	タイ
	沈秀ヨン (シムスヨン)	日本の生活	7	韓国

#### 2) 2017年度 第36回 留学生による日本語スピーチコンテスト

##### 順位一覧 (賞名)

	賞名	名前	タイトル	国籍
1	東海大学学長賞	アルカタニ ワリド	私の選択	サウジアラビア
2	国際教育センター 所長賞	ドルディエフ ケマル	最後まで戦う	トルクメニスタン
3	東海大学新聞賞	金東映 (キム ドンヨン)	私が変わった理由	韓国
4	平塚市国際交流協会 理事長賞	シャリヤル ホセイニ	私の好きなもの	イラン
5	国際ソロプチミスト 平塚賞	辛健浩 (シン ゴンホ)	成功とは	韓国
6	秦野市 国際交流協会賞	ジャムスランジャヴエル デネソブド	モンゴル人の生活	モンゴル

7	東海大学同窓会 神奈川中央支部賞	ディヤースリ ウタミ	日本人の ホスピタリティー	インドネシア
8	努力賞	孫 炳勲 (ソン ビョンフン)	一人暮らし	韓国
9	努力賞	姚 国璋 (ヨウ コクショウ)	バンダと異文化交流	中国
10	努力賞	ジェイムズ マッキンタイア	言葉を使いましょう	オーストラリア

優勝者コメント（アルカタニ ワリドさん）

今回スピーチコンテストで学長賞をもらうことができてよかったです。最初は少し緊張していました。これは私が初めて参加したスピーチコンテストです。昔からクラスの前でアラビア語と英語のスピーチをしましたが、そんなに重要ではありませんでした。ですから、自分の能力と自信を改善するためにこのコンテストに出ました。

学長賞がとれたのは本当に嬉しいです。日本語は自分の心の特別なところにあります。一番になった後、そのところはもっともっと深くなりました。

これからももっと頑張りたいです。次のスピーチコンテストも参加するつもりです。

### 3. 2017年度国際教育センター FD 研究会報告

今年度の国際教育センター（留学生支援教育部門・国際教育部門）では、以下のFD研究会・研修会等の活動を行った。

国際教育センター4部門（英語教育・国際言語教育・国際教育・留学生支援教育）合同FD研究会

1. 第一回国際教育センター研究分野・領域共有のためのFD研究会

テーマ：センター内の研究分野・領域共有（英語教育部門・国際言語教育部門）

日時：2017年9月15日（金）14：45～17：30

2. 第二回国際教育センター研究分野・領域共有のためのFD研究会

テーマ：センター内の研究分野・領域共有（国際教育部門・留学生支援教育部門）

日時：2017年10月27日（金）15：30～17：00

<発表>

加藤好崇「観光接触場面におけるツーリスト・トーク研究—「やさしい日本語」の可能性」

青木由香利「留学生のための数学教育—数学専門用語の指導方法と教科書開発—」

鷹取勇希「ハワイ地域研究からみる言語的・文化的多様性保持可能性」

グラディシェワ・ヤロスラヴァ「都市の経済と社会開発における戦略」

外崎淑子「述語の意味はどのように統語構造と語形成に反映するか」

元田 静「構成主義パラダイムにおける協働学習」

田口香奈恵「受身文・使役文・授受表現の理解と産出のための「文法ドラマ」

3. 発展教養科目「国際理解」(2018年度開講)のためのFD研修会

3-1『国際理解』模擬授業1

テーマ：ニュース紹介のアクティブ・ラーニング(練習1)(授業担当者：村上治美)

日 時：2017年6月2日(金)

3-2『国際理解』模擬授業2

テーマ：ニュース紹介のアクティブ・ラーニング(発表1)(授業担当者：斉木ゆかり)

日 時：2017年6月6日(火)

3-3『国際理解』模擬授業3

テーマ：ニュース紹介のアクティブ・ラーニング(練習2)(授業担当者：元田 静)

日 時：2018年1月9日(火)

3-4『国際理解』模擬授業4

テーマ：ニュース紹介のアクティブ・ラーニング(発表2)(授業担当者：元田 静)

日 時：2018年1月16日(火)

3-5『国際理解』担当者会議(第1回)

テーマ：『国際理解』授業の打ち合わせ

日 時：2018年8月2日(水)

3-6『国際理解』担当者会議(第2回)

テーマ：『国際理解』授業の打ち合わせと顔合わせ

日 時：2018年11月24日(金) 16:50-18:20

3-7『国際理解』担当者会議(第3回)

テーマ：『国際理解』ニュース紹介についての打ち合わせとシミュレーション

日 時：2018年2月23日(金)

3-8『国際理解』担当者会議(第4回)

テーマ：『国際理解』授業の打ち合わせと顔合わせおよび体験授業

日 時：2018年3月30日(火)

国際教育センター留学生支援教育部門・国際教育部門主催FD研究会

<1>講演会

テーマ：「やさしい日本語(にほんご)にはゆめがあります」(講師：吉開章氏)

日 時：2017年5月23日(火) 11:05-12:35

<2>講演会

テーマ：フィンランドの日本語教育(講師：永田彩乃氏)

日 時：2017年6月14日(水) 17:00-18:00

<3>講演会

テーマ：日本/インドネシアの日本語教育(講師：横田徹氏, 渡辺幸恵氏)

日 時：2017年7月5日(水) 17:00-18:00

<4>ワークショップ

テーマ：スマホを使った語彙の授業（講師：リチャード・ベイリー氏）

日 時：2017年6月23日（金）15：20～16：20

<5>授業報告会

テーマ：上級日本語授業報告会

日 時：2017年7月28日（金）9：20～10：50

<6>授業報告会

テーマ：2017年度春学期別科日本語研修課程授業報告会

日 時：2017年7月28日（金）11：05～14：40

<7>ワークショップ

テーマ：スマホを使った語彙の授業2（講師：リチャード・ベイリー氏）

日 時：2017年7月28日（金）13：35～14：40

<8>授業報告会

テーマ：2017年度春学期留学生課程・副専攻日本語教育・特定プログラム授業報告会

日 時：2017年8月2日（水）11：05～12：35

<9>担当講師会

テーマ：2017年度秋学期留学生課程・副専攻日本語教育・特定プログラム担当講師会

日 時：2017年8月25日（金）11：05～12：35

<10>研修会・発表

テーマ：第30回日本語教育研修会（2017年度秋学期）

日 時：2017年9月1日（金）9：30～12：50

第1部：「初中級聴解教材の作成方法」レクチャーとワークショップ（講師：宮城幸枝氏）

第2部：「私の実践研究」中間報告（全員）

<聴解・音声・文法> プレゼンテーション・スペース 司会：元田

久津間幸子「音読ピア活動の試み」

宮城幸枝「リピージングの効果を検証する—リピージングは日本語能力を向上されるのに有効か—」

外崎淑子「ディクテーションは何を測っているのか」

清水慶子「生教材を使用した聴解授業の実践報告—初中級レベル学習者の理解促進に有効な補助教材とは—」

小笠恵美子「文法学習から場面創造を促す取り組み—文法ドラマとスクリプト作成の実践から—」

元田 静「読解ストラテジーを意識した読解指導」

田口香奈恵・上田安希子「目的の異なる教科書を2冊併用した初中級クラスでの実践」

久野由宇子・田口香奈恵・山森理恵・上田安希子「受身文・使役文・授受表現の理解と産出のための「文法ドラマ」—例文が表す状況を演じて、文型の違いを整理する授業活動—」

<文化・表現・その他> プロジェクトルーム1 司会：村上

西山友恵「活動記録「振り返りシート」(文化)の見直し」

上原久美子「文化の授業で意識したこと―「つなげる」「ひろげる」―」

村上治美「国際理解教育に向けて―国際ニュース紹介活動の実践―」

小泉美礼「新聞要約」

斉木ゆかり「タスク(「気づいたらディベート」)の効果を考える」

中村フサ子「話し方と作文のコラボレーションができる教材作り」

小林尚美「正確さも重視した日本語コミュニケーション能力―話し方と作文の連携を深めて―」

北村よう「ファイルメーカーによる教材作成・事務処理の普及」

<11>担当講師会

テーマ：2017年度秋学期別科日本語研修課程担当講師会

日時：2017年9月1日(金) 13:25-16:10

<12>ワークショップ

テーマ：スマホを使った語彙の授業3(講師：リチャード・ベイリー氏)

日時：2017年9月19日(火) 13:25-14:55

<13>ワークショップ

テーマ：スマホを使った語彙の授業4(実践報告とデモ)

日時：2018年1月26日(金) 9:20-10:05

1. クイズレットとは(北村)

2. 4クラス(北村・志喜屋) / 6クラス(外崎) / 2クラス(上田)

<14>授業報告会

テーマ：2017年度秋学期別科日本語研修課程授業報告会

日時：2018年1月26日(金) 10:10-14:40

<15>授業報告会

テーマ：2017年度秋学期留学生課程・副専攻日本語教育・特定プログラム授業報告会

日時：2018年2月1日(木) 11:00-12:35

<16>研修会

テーマ：第31回日本語教育研修会(2018年度春学期)

日時：2018年3月1日(金) 9:20-12:35

「初中級聴解教材の作成方法～その2～」(講師・コーディネーター：宮城幸枝氏)

教材修正ワークショップ

グループ	名前	担当テキスト番号
A	元田, 小泉, 西山	1, 8, 15, 22, 29, 36, 43
B	北村, 上原, 笠倉	2, 9, 16, 23, 30, 37, 44
C	外崎, 小林, 上田	3, 10, 17, 24, 31, 38, 45
D	斉木, 久野, 志喜屋	4, 11, 18, 25, 32, 39

E	田口, 本田, 長松谷	5, 12, 19, 26, 33, 40
F	中村, 葛西, 清水	6, 13, 14, 20, 27, 34
G	村上, 寺田, 渡邊	7, 21, 28, 35, 41, 42

<17>担当講師会

テーマ：2018年度春学期別科日本語研修課程担当講師会

日時：2018年3月16日（金）10：30～11：30

<18>担当講師会

テーマ：留学生課程・副専攻日本語教育・特定プログラム担当講師会

日時：2018年3月16日（金）10：30～11：30

<19>ワークショップ

テーマ：スマホを使った語彙の授業5（コーディネーター：北村よう氏）

日時：2018年3月28日（水）13：00～15：00

#### 4. 2017年度学部等研究教育補助金計画・成果報告書（目的限定型）

2018年2月13, 14両日, タイのモンクット王ラカバン工科大学において, 本学創立75周年記念行事国際学術セミナー『言語教育と日本学の拡がり創造に向けて』を開催した。

本セミナーには, 本校の他, 開催校のモンクット王ラカバン工科大学 (KMITL), 協定校である漢陽大学, エジプトのカイロ大学4校が参加した。また, タイの国際交流基金日本センター所長, 日本語部長などもセミナーに出席され, タイにおける日本語教育の本校の役割を強く印象づけた。

セミナーは, 2018年2月13日9：00から20：00まで（懇親会を含む）, 14日9：30から14：05まで, いずれもモンクット王ラカバン工科大学の複数の会場を借りて行われた。

初日のパネルディスカッションは, 東海大2名, KMITL2名, 漢陽大1名, カイロ大1名, (司会東海大) で構成された。また, 発表については東海大7名（教員及び大学院生2名）, 漢陽大9名, KMITL5名, タイ国際交流基金2名, カイロ大1名が口頭発表を行った。全体の参加者は初日が約50名, 二日目が約40名であった。

スケジュールの詳細については, 下の「2017年国際学術セミナー」報告に記載する。

2017年度国際学術セミナー（本学創立75周年記念行事国際学術セミナー『言語教育と日本学の拡がり創造に向けて』）

セミナーは, 「2017年度学部等研究教育補助金計画・成果報告書（目的限定型）」と同一のものであるが, スケジュールの詳細に関しては以下の通りである。

<1日目 2/13>

9時 受付開始

9時半 開催校代表挨拶（司会：富田紘央）

- 10：00～11：45 パネルディスカッション『4カ国1地域における日本語教育の現況と課題：タイ・韓国・日本・エジプト・アラブ世界の場合』  
＜パネリスト＞ニダー・ラーブスイサワット先生（KMITL），鄭夏美（漢陽大学），村上治美（東海大学），ワリード・イブラヒム（カイロ大学），アルモーメン・アブドーラ（東海大学）＜司会＞加藤好崇（東海大学）
- 11：45～13：00 昼食
- 13：00～13：30 「タイの大学における日本人日本語教師の現状に関する調査」森井健太（KMITL）／「サハリン探検記録—『東韃紀行』から『サハリン島』まで」李俊榮（漢陽大学）
- 13：35～14：05 「日本の嫌韓再考：在特会 VS 男組」金芝珉（漢陽大学）／「タイ国での『会話授業』のカタチ—授業外での会話活動から—」溝川史（KMITL）
- 14：10～14：40 「教室外活動としてのFacebook グループ実践報告—「まるごと」コースのタイ人学習者を対象に—」ルキッラック・トリッティマー（国際交流基金バンコク日本センター）／「ジャック・ラカンの精神分析的解釈—TVアニメ東京喰種トーキョーグールを中心に—」吳炫炅（漢陽大学）
- 14：45～15：15 「タイの日本語教育現場におけるタイ人教師と日本人教師の間で必要なコミュニケーション Can-do に関する取組について—タイ人日本語教師対象研修による新たな気付き—」トンミー・ナリサラ（国際交流基金バンコク日本センター）／「日本アニメーション『残響テロル』に現れる歴史意識について考察—エティクスコンプレックスの観点から解釈—」李柱豪（漢陽大学）
- 15：20～15：50 「近代家族と近代映画物」朴慧林（漢陽大学）／「Factors Influencing Students' Choices of Work Placements for Cooperative Education Program」チャヤヌット・パッタナスワン（KMITL）
- 15：55～16：25 「日系企業の求める人材とタイ人学生が求める日系企業像」富田紘央，ニダー・ラーブスイサワット（KMITL）／「異文化理解に有効な翻訳方略を目指して『浅草鳥越あずま床』のアラビア語訳を例として」ワリード・イブラヒム（カイロ大学）
- 18：00～懇親会 乾杯の挨拶：国際教育センター所長山本佳男

<二日目 2/14>

9：30 受付開始

- 10：00～10：30 「学習者特性と学習方略に見られる言語別履修者傾向分析」結城健太郎・白澤秀剛（東海大学）／「モンゴル人日本語学習者の格助詞に関する誤用分析—場所名詞につく格形を中心に—」ガントグトフ サラントヤ（東海大学）



- 10：35～11：05 「日本語で表現できる感情」 TANASESCU/ALEXANDRA GIORGIA MS（漢陽大学）／「チューター場面における第三者言語接触場面のインターアクション問題：T大学の一事例から」セータウィースクニールナン（東海大学）
- 11：10～11：40 「協働学習の研究方法に関する一考察—談話の分析を中心に—」元田静・笠倉敬弘（東海大学）／「までとまでに使い方の違いと意味考察」李京姫（漢陽大学）
- 11：40～13：00 昼食
- 13：00～13：30 「BCCWJとCSJを活用した類義語分析の例—接続詞「さて」と「ところ」の場合」辛恩慧（漢陽大学）／「音声提示日本語リピーティング時の漢字形態認識について—リピーティング指導の効果を検証する—」宮城幸枝，灰田宗孝，沖野成紀（東海大学）
- 13：35～14：05 「学習言語を相互に使用した異文化理解授業」村上治美（東海大学）／「日本語における引用表現に関する計量的研究」朴賢洙（漢陽大学）

### 【留学生会の活動報告】

なし

2017年度 教員名簿 (留学生支援教育部門・国際教育部門)				
専任			非常勤 (50音順)	
山本佳男	国七所長		上田安希子	2017年4月～
宮崎啓	国七次長		上原久美子	
千葉雅史	国七次長	2017年4月～	小笠恵美子	2018年3月退職
谷口聡人	教授	2018年3月定年退職	葛西里奈	
宮城幸枝	教授		笠倉敬弘	2017年9月～
村上治美	教授		久野由宇子	
斉木ゆかり	教授		久津間幸子	2018年3月退職
加藤好崇	主任教授		小泉美礼	
北村よう	主任教授		小林尚美	
外崎淑子	准教授		志喜屋カロリーナ	2017年9月～
元田静	准教授		寺田裕子	
アルモーメン アブドラー	准教授		中村フサ子	
田口香奈恵	准教授		西山友恵	
富田紘央	特任講師		本田綾子	
佐藤聖	特任教授	2018年退職	増倉洋子	2018年3月退職
広瀬一郎	特任教授	2017年5月 死去	山森理恵	
青木由香利	特任講師		横田川弥里	2017年9月～
鷹取勇希	特任助教		渡邊美和子	2017年9月～
グラディシエワ ヤロスラヴァ	特任助教	2017年4月～	土屋寛太郎 (数学)	2017年度秋学期
田牧陽一	特任助教	2017年12月～	モハメッド シュルズ ミヤ (数学)	2017年4月～
その他授業担当			EVN 授業担当	
担当教員	部門	授業名	石井敬一郎	客員教授
ウォルプリング エファ	国際言語部門	日独比較研究	岡本毅	客員教授
金珉秀	国際言語部門	日韓比較研究	可見吉男	客員教授
結城健太郎	国際言語部門	プロジェクト入門	田原義壽	客員教授
森山美紀子	国際言語部門	日中比較研究	広瀬研吉	客員教授
長沼君主	英語教育部門	日本語と教育3		